

囲碁入門講座通信 令和4年第42号



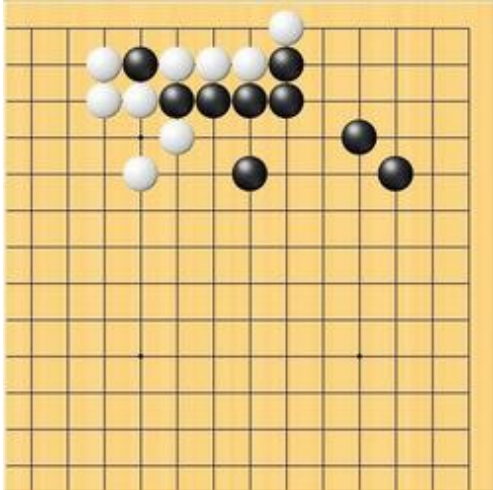
報告:有楽斎

毎月第二日曜日の午後1時半から午後4時ごろまで、朝日2丁目集会所で「囲碁入門講座」に、それなりに一所懸命取り組んでいるのですが、新型コロナウイルス感染を防ぐために、「三つの密」密閉・密集・密接を避けがたく、まことに口惜しところですが、**現在休局中**です。
(棋士名は椿に因んだ名をニックネームとして表記しています)

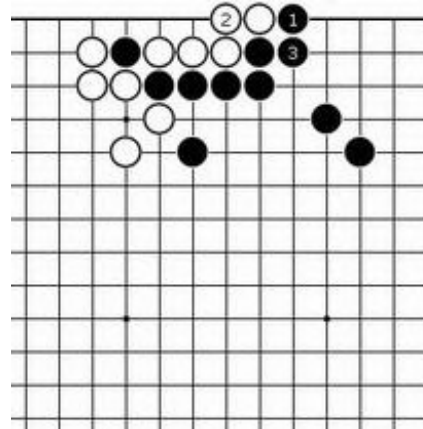
今号は入門者用にヨセ問題をご案内したいと思います。(監修:太神楽(だいかくら)師匠)

ヨセの優先順位と手筋を覚えよう ヨセが強くなるためには2つの方法がありますが、両方とも大事です。その一つは、「両後手、片先手・逆ヨセ、両後手」の意味をよく理解し、各部分のヨセの**優先順位(大きさ)**を考える力を養うことです。ヨセの手順が少しわかってくるだけでも、かなり勝率が上がるでしょう。(もう一つは次号で)

ヨセ問題2 黒番 どうヨセますか。

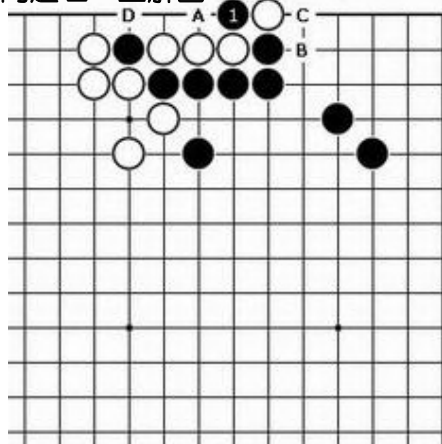


ヒント 実戦ではこう打つ級位者が多いですね。でも、もっと得なヨセがあるのです。3手目も大事。



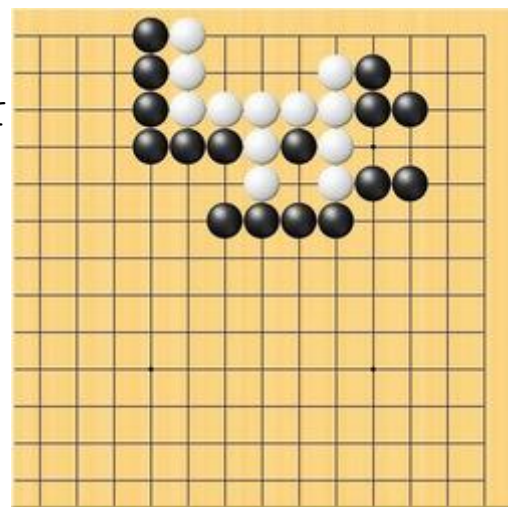
正解と解説

問題2 正解図



ヨセ問題3

黒番
ヨセを打ってください。



黒1の手筋を覚えてください。白Aと取らせてから黒Bと引いておきます。この後ダメが詰まると、白はDと取らなければならず、黒は失敗図(ヒント)に比べて1目得しています。さらに黒Cから1の半コウも残っています。

正解と解説は次号(第43号)でご案内します。

問題は、囲碁上達法(詰碁)より引用しました。

次号は2月10日発行予定です